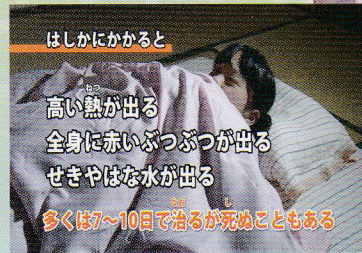
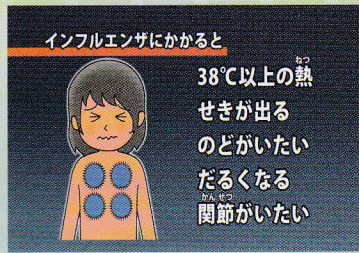
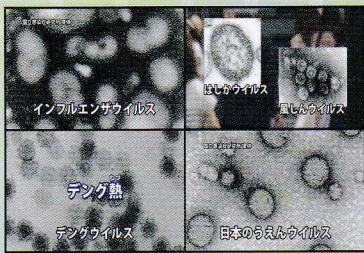


小学校中・高学年向け / DVD [カラー約18分]

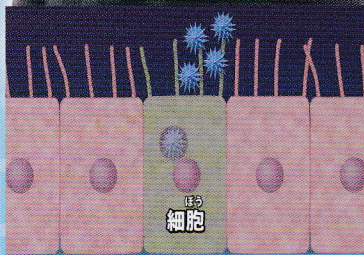
かん 感せんしょうが は や 流行るのはなぜ？ かん ぼう ウイルスの感せんを予ぼうする方法



中学生向け / DVD [カラー約22分]

せん しょう 感染症流行中！

どう備える？ どう防ぐ？



企画意図

毎年、冬になるとインフルエンザが流行し、小中学校では学級閉鎖になるところも少なくありません。また、1996年に大阪府堺市で61の学校において集団発生した「出血性大腸菌O157」による感染症は、患者数9523人、死者3人という大惨事となりました。学校のような集団生活をしている場所では、このような感染症が一気に拡大していく恐れがあります。子供たち一人ひとりが感染症とは何かを理解し、その予防方法を理解して実践することは、必要不可欠なことです。

そこで本作品では、「人から人にうつる」感染症の例として「インフルエンザ」「麻しん(はしか)・風しん」を、「蚊に刺されてうつる」感染症の例として「デング熱」「日本脳炎」を取り上げます。

ウイルスそれぞれの感染経路を見ながら、感染・発症した場合に起こる症状や、処置の方法をわかりやすく説明します。また、「ワクチン」の仕組みや「予防接種」の効果、暮らしの中でできる感染症の予防方法など、各々の感染症の効果的な予防策を解説します。自分や周りの人々を感染症から守るために、一人ひとりが感染症の知識と予防法を正しく理解し、実践していくことの大切さを訴えていきます。

小学校中・高学年向け
約18分

かん は や かん よ ほう
感せんしょうが流行るのはなぜ？ ウイルスの感せんを予ぼうする方法

微生物が体内に侵入することで起こる感染症の知識を、視聴する小学生に理解しやすいよう、再現映像等でわかりやすく解説する。

■身近にある感染症

冬になると流行るインフルエンザという病気は、ウイルスという微生物が私たちの体内に侵入することで発症する。ウイルスは、どのようにして体内に侵入するのだろうか？インフルエンザや、その他の感染症の感染経路や症状、対処と予防方法を見ていこう。

■人から人へうつる—インフルエンザ

【感染経路】

インフルエンザウイルスを持った人が咳・くしゃみをして浮遊したウイルスを別の人が口・鼻から吸い込むことで感染する。

また、ウイルスを持った人の手が咳・くしゃみで汚染され、その手が接触したドアノブなども汚染されて、他の人に感染することもある。

【症状】

高い熱が出る/咳が出る/のどが痛い/だるくなる/関節が痛む

【発症したときの対策】

- 安静にして睡眠を十分に摂る ○水をたくさん飲む
- 他の人にうつさない→咳エチケットを守る
- 登校は症状が出てから5日が過ぎ、熱が下がって2日過ぎてから

【予防方法】

- 流行期間中はなるべく人混みを避けよう。
- 帰宅後は手洗い、うがいをしよう。→正しい手洗いの方法
- マスクをしよう。 ○普段から体を丈夫にしておこう。
- ※同じく人から人へうつる、麻疹(はしか)、風しんにも触れていく。

■蚊に刺されてうつる—デング熱、日本脳炎

【感染経路】

デング熱の場合は「ヒトスジシマカ」、日本脳炎の場合は「コガタアカイエカ」という蚊が人を刺すことでウイルスを媒介する。

【症状】

- デング熱の場合…高熱/激しい頭痛・筋肉痛・関節痛/赤い発疹
- 日本脳炎の場合…高い熱が出る/頭痛や吐き気がする/かかった人の20~40%の人が亡くなる/治っても手足のマヒなどが残ることが多くある

【予防方法】

- 蚊に刺されないよう 長袖長ズボン、虫よけ薬等を活用しよう。
- 蚊の繁殖場所を無くすため野外の空き缶等のゴミを掃除しよう。

- ライブラリー価格 ￥65,000+税
- 学校価格 (小学校のみ) ￥33,000+税

中学生向け
約22分

せんしょう
感染症流行中！ どう備える？どう防ぐ？

微生物が体内に侵入することで起こる感染症の知識を、中学生レポーターによる専門家への取材、再現映像等でわかりやすく解説する。

■人から人へうつる—インフルエンザ

【感染経路】

○インフルエンザウイルスを持った人の咳・くしゃみで飛び出したウイルスを、別の人が口・鼻から吸い込むことで感染

○ウイルスを持った人の手が、咳・くしゃみで汚染され、その手が接触したドアノブなども汚染され、他の人に感染

【症状】

高熱/咳/のどの痛み/倦怠感/関節痛

【発症したときの対策】

- 安静にする ○十分な睡眠 ○水分補給し脱水症状を防ぐ
- 他の人にうつさないよう咳エチケットを守る
- 登校は症状が出てから5日が過ぎ、熱が下がって2日過ぎてから

【予防方法】

- 流行期間中はなるべく人混みを避ける
- 帰宅後の手洗い、うがいを徹底→正しい手洗い
- マスクの着用 ○普段から規則正しい生活で体調管理をしておく

■人から人へうつる—麻疹(はしか)、風しん

【感染経路】

○はしかや風しんのウイルスを持った人の咳、くしゃみ、会話などで

ウイルスが空気中を漂い、それを別の人が吸い込んで感染

【症状】

- はしかの場合…高熱/全身に赤い発疹/咳や鼻水
- 風しんの場合…熱/全身に赤い発疹

【予防方法】

○はしか、風しん共に、ワクチンを接種することで予防

■蚊に刺されてうつる—デング熱、日本脳炎

【感染経路】

- デング熱の場合…「ヒトスジシマカ」という蚊がウイルスを媒介
- 日本脳炎の場合…「コガタアカイエカ」という蚊がウイルスを媒介

【症状】

- デング熱の場合…高熱/激しい頭痛・筋肉痛・関節痛/全身に発疹
- 日本脳炎の場合…高熱/頭痛・吐き気/20%~40%の死亡率/手足のマヒなど後遺症

【予防方法】

- 蚊に刺されないよう、長袖長ズボンの着用、虫よけ薬の活用等
- 蚊の繁殖場所を廃絶→野外の空き缶等のゴミを撤去

- ライブラリー価格 ￥65,000+税
- 学校価格 (中学校のみ) ￥33,000+税

監修

国立感染症研究所

感染症疫学センター第二室 室長 砂川 富正

感染症疫学センター第三室 室長 多屋 馨子

ウイルス第一部第2室 室長 高崎 智彦

企画・制作統括

脚本・演出

撮影

イラスト・CG

ナレーター

コーディネーター

高木 裕己

川崎 けい子

高橋 哲也

正者 章子

松本 寛子/横山 剛

斎藤 晃顕

制作・著作/株式会社 映学社

DVD[カラー]/2016年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

北辰映像株式会社

〒350-0461 埼玉県入間郡毛呂山町中央 3-32-3

TEL:049-298-5792 FAX:049-298-5793

E-mail: co@hokushineizo.com